

地藏尾根から仙丈ヶ岳（3032.6m）

2013年7月21日(日)～22日(月)

メンバー L：布田、磯部N(記)

7月21日(日) 晴れ

登山口の柏木の駐車場にはすでに4台の車が止まっていた。昨日から登っているか、健脚の日帰り登山者の車だ。

地元の篤志家の好意で用意された駐車場のすみに車を駐める。



地元の篤志家が提供してくれている駐車場

今回は仙丈ヶ岳登山のクラシックルートと言われる地藏尾根からのロングコースだ。黒戸尾根や早月尾根に匹敵するくらい大変な、ドMコースだという人もいる。道は登山口よりなだらかに登っていく。雑木林が日光を遮ってくれるので助かる。4回ほど林道を横切って登山道は続く。



三回目の林道出合から山道へ

今日は松峰小屋までの予定なので気持ちも楽。きよろきよろしながら花を探す。
この時期、目立たないがラン科の花が見つかる。そのほか咲いている花はかなり多い。さすが花の山だ。



ラン科のジンバイソウ

標高の表示が全く無く高度計が頼りだが、山頂への案内標識はかなり設置されている。
シダの生い茂る松峰のながーいトラバース道を過ぎ、いくつかアップダウンを繰り返し、松峰小屋への分岐についた。



稜線から100メートル歩くと小屋がある

写真を撮り、のんびり休み、5時間ほどかかった。
分岐から、小屋まで100メートルほど下がる。20人近くは泊まれるかな？の小屋に着く。
土間が真ん中にあり、両側が板の間で比較的きれいだ。
水場はさらに10分弱下って流れのある所で確保。



松峰小屋全景

二人だけの小屋は気楽だったが、夜中、小動物か昆虫かが室内にいる気配がして、カサコソ、カタカタに怯え、超緊張の一夜で何度もヘッドランプを点す羽目になり、ほとんど眠れず。

7月22日（月） 晴れ

3時に起床。心配した天気も持ちそうな気配。

10時まで歩いて着かなければ頂上をあきらめる覚悟で4時20分に歩き出す。

小屋から稜線へ登り、余分な荷は木の陰にデポ。いきなり300mの登りが起きて間もない体につい。

登るにつれ次第に苔が増え、倒木も出てきて歩きにくい。緑いっぱいの山道を歩く。

展望台からは中央アルプスが確認できた。

足下にはシロバナノヘビイチゴやニョホウチドリなんて、あまり見ないような花も出てきて、俄然元気が湧いた。



樹林の中に群生するシロバナノヘビイチゴ

2600メートル近くなり、ようやく樹林が途切れて視界が開け、岩稜帯になった。
目指す仙丈ヶ岳山頂がようやくそれと確認でき、まだ遠いなーとか言いつつも、行けるぞ！と確信した。



岩稜帯を歩く

山頂近くの稜線に出ると目の前にドカーンと甲斐駒と鋸のギザギザがせまり、圧巻の展望だ。



甲斐駒ヶ岳と鋸岳を眺めながら

9時22分、ついに山頂へ着く。平日だが人気の山で人はワンサカ。次々に登ってくる。予想外に天候に恵まれ鳳凰、北岳、間ノ岳、塩見、富士山がずらーと並び、しばし展望を楽しんで、長い下山に気を引き締めた。



やったー！ようやくたどり着いた頂上

<タイム>

21日

柏木駐車場(7:30)－孝行猿の碑(8:00)－松峰トラバース道(11:15)－松峰小屋分岐(12:30)
－松峰小屋(12:36)

22日

松峰小屋(4:20)－地藏岳トラバース入り口(5:00)－2400M(6:10)－仙丈小屋分岐(8:55)
－山頂(9:22)
－展望台(12:00)－小屋分岐(13:16)－林道出合(15:15)－孝行猿の碑(16:27)－駐車場
(16:44)

以上です。